

事業番号	16 01 12	事業改善シート(25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	災害警備対策事業			担当課	部局 警察本部		
総合5か年計画	プロジェクト	4-1 地域防災力の向上		課・室	警備第二課		
	施策の総合的展開	1 危機管理体制の整備		E-mail	police-keibidaini@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	S29 ~		

1 事業の概要

目指す姿	大規模災害時に、迅速かつ的確な対応を行うために、精強な機動救助部隊の構築を図るとともに、救出救助能力の向上、災害警備活動に必要な装備資機材の継続的な整備及び災害警備本部機能強化等により、県民の生命、身体及び財産を守る。		
現状	東日本大震災、長野県北部・中部の地震、上高地土石流災害、台風等による風水害、その他事故災害等への災害警備対策を行っているものの、今後起こり得る各種災害に対し、更なる警備体制の強化、精強な部隊員の養成、装備資機材の整備が必要不可欠である。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 警察法、警察法施行令、警察官職務執行法、災害対策基本法等	
	県民との協働による実施: 困難		

事業内容	① 成果目標(H25)				
	<input type="checkbox"/> 万全な警備体制の確保と救助技能向上のため、平成25年度関東管区広域緊急援助隊総合訓練を実施 <input type="checkbox"/> 救出救助・捜索用等、装備資機材の整備 <input type="checkbox"/> 総合指揮室(災害警備本部)の機能強化				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H25事業実績		
			H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)
1. 災害警備用 装備資機材の整備	直接	災害出動用警備服、備蓄装備品の整備 ・装備資機材(チェーンソー、ゴムボート、バイク等)の強化	5,515	4,915	4,365
2. 関東管区 広域緊急援助隊総合訓練	委託 直接	関東管区内の広域緊急援助隊総合訓練に要する経費	3,200	3,150	0
3. 総合指揮室の機能強化	委託	災害警備本部となる総合指揮室表示装置等の使用料	31,870	32,511	31,297
合計			40,585	40,576	35,662

事業コスト	区 分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	35,856	37,625	40,585	35,662
	補正予算				
	合計(A)	35,856	37,625	40,585	35,662
	国庫支出金	122	118	118	118
	Aの財源				
	県債				
	その他( )				
	一般財源	35,734	37,507	40,467	35,544
決算額(B)	32,585	37,404	40,576		
概算 職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	
概算 人件費	83	83	83	83	
概算事業費(B(A)+C)	32,668	37,487	40,659	35,745	

成果目標の達成状況					
項目	H24末 (実績)	H25			H26 目標
		目標	成果	達成状況	
各種訓練実施回数					105回

目標に対する成果の状況	各種装備資機材や総合指揮室を活用した災害警備訓練を反復・継続的に実施し、装備活動体制の強化を図った。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 災害発生時の初動対応能力の向上のため、救出、救助に必要な装備資機材を整備するとともに、精強な部隊育成のための各種訓練を継続的に実施する。
--------------------	---

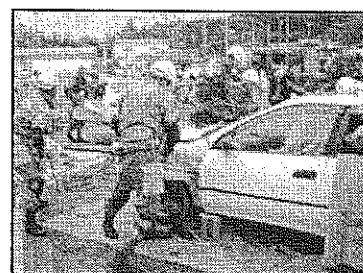
## 1 目的

今後発生が危惧される南海トラフ地震等の地震や風水害等による大規模災害発生時における初動対応を迅速・的確に実施するため、精強な部隊の育成、機動救助部隊の救出救助活動能力向上、災害警備本部の指揮能力強化により、県民の生命・身体・財産を保護するもの。

## 2 概要

### (1) 平成25年度関東管区広域緊急援助隊総合訓練

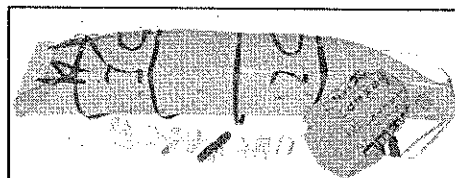
- 平成25年11月19日(火)実施
- 松本平広域公園「信州スカイパーク」陸上競技場周辺及び体育館
- 関東管区警察局内10県警察と防災関係機関から約500人が参加
- 緊急交通路確保・埋没車両からの救助・埋没家屋からの救助・中州からの救助・高所からの救助等の各訓練を半ブラインド方式で実施



精強な部隊の育成

### (2) 装備資機材等の整備

- 救出救助のための資機材の整備
  - ・ スケッドストレッチャー(コンパクト担架)、救助用ゴムポート、トライアルバイク等の整備
- 災害対策用非常食の整備
  - ・ 警備部隊、警察署部隊へのアルファ米等の整備
- 衛星携帯電話の整備
  - ・ 非常通信網の確保

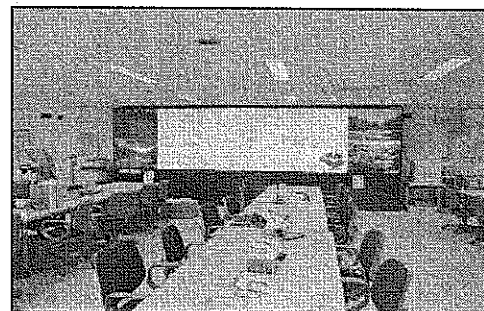


スケッドストレッチャー

救出救助能力の向上

### (3) 総合指揮室の機能強化

- 大規模災害、重要事件事故発生時の指揮本部
- 迅速正確な情報収集による的確な指揮が可能
- 現場映像受信装置等を設置
  - ・ 大型表示装置～62型×12画面のマルチシステム
  - 現場からの各種映像(ヘリテレ、モバイル映像等)をリアルタイムに表示
  - ・ 長時間録音、録画装置
  - ・ 時系列記録システム



的確な指揮能力の向上

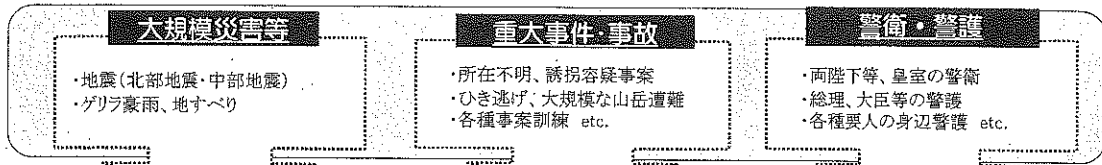
## 3 成果

関東管区広域緊急援助隊総合訓練、総合指揮室を活用した実戦的各種訓練の反復実施、災害装備資機材の整備等により、精強な部隊の育成が進むとともに、災害対応能力の向上が図られた。

# 警察本部総合指揮室

警備第二課

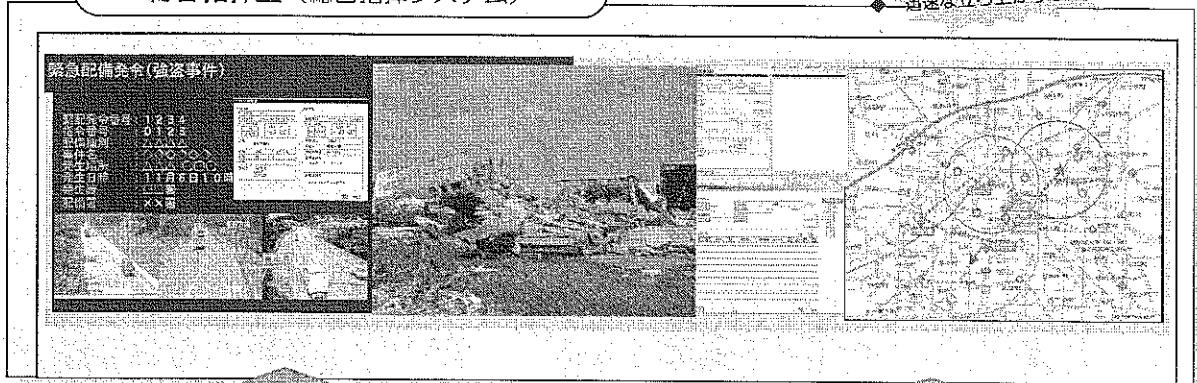
## 1 総合指揮室の概要



災害・重要事件・事故等の発生時に、情報を集約し、統括的に指揮

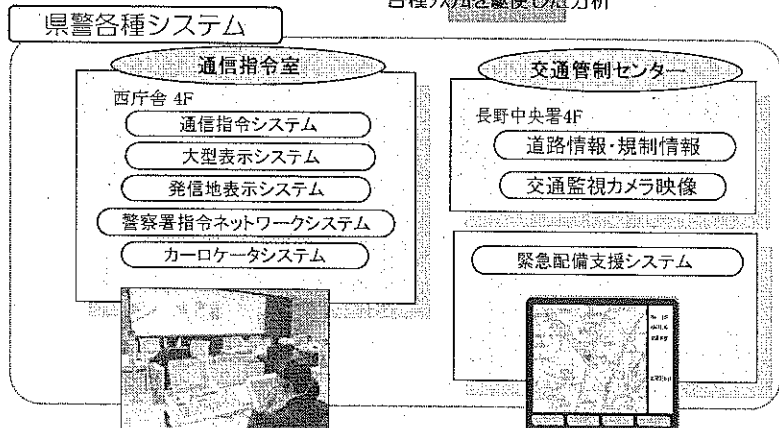
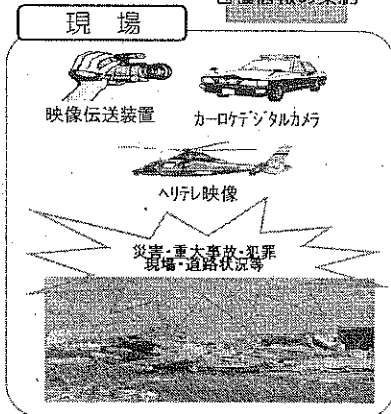
### 総合指揮室 (総合指揮システム)

- ◆ 総合指揮体制を素早く確立
- ◆ 迅速な立ち上がり的確な指揮



各種情報の集約

各種システムを使用した分析



## 2 更新内容(平成26年3月)

### ★ 高機能による情報処理能力の向上

- ・ 新時系列システムの導入(地図情報とリンク)
- ・ 事案発生場所を地図上にプロット可能
- ・ 事案に応じた長時間記録に対応
- ・ 指揮側の情報処理能力の向上
- ・ 迅速・的確な指揮

### ★ 表示システムの高度化

- ・ 画質鮮明(62型12画面←現行50型12画面)
- ・ LED化→電気代の節約(消費電力約1/2)、消耗品購入不要